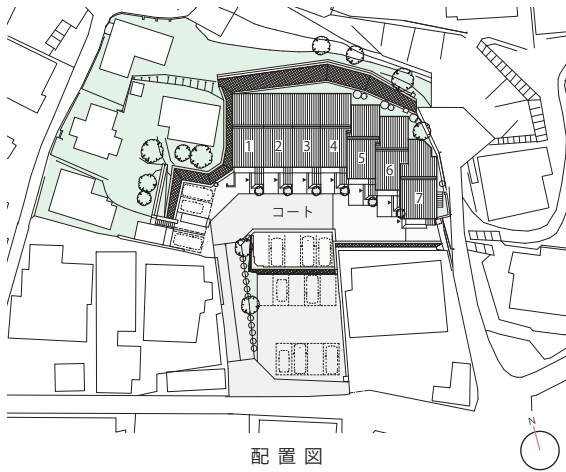




連続するシンボルツリーとカーポート



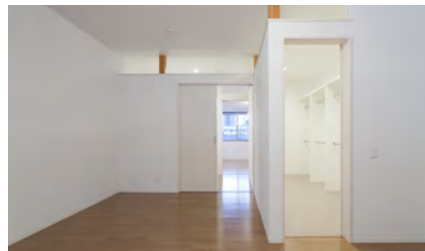
住戸7 カーポートより各住戸のポーチを見る



[近所づきあいのある暮らし]

敷地は崖崩れの危険性が高い急傾斜地を抱えていて、開発許可による造成工事が必要だった。これらの工事資金を捻出するために賃貸事業が選択され、新たな住人を受け入れることで次の世代へと住み継ぐことが可能になった。

「テラスコート牛田旭」はオーナーの希望で、既存住宅や地域の人々と新しいコミュニティが生まれるような開かれた小住宅団地が求められた。新たに整備された道路をこの団地のコート(中庭)に見立て、中庭を介する生活により自然にコミュニティが生まれることを委ねた。開かれた中庭に面したエントランスは、高さを抑えられてリズムカルに並び、各住戸が分節して街並に見えるよう工夫した。建物は背景に見える竹藪に沿うように雁行させることや、白黒のコントラストが繰り返される外観、住戸間の袖うだつなど、限られた土地の中で快適に暮らすため伝統的な町屋の手法を取り入れた。各住戸は南北に長い。敷いて日当たりのよい南側の2階に小さな書斎を設け、ここから階段のある吹き抜けを通して、建物の奥まで光や風が届くように工夫した。さらに2階の天井は緩やかな勾配で全てが繋がっており、天井まで空いた窓の光が南北を貫く。家中どこにいても家族の気配が感じられ、開放的な空間になった。



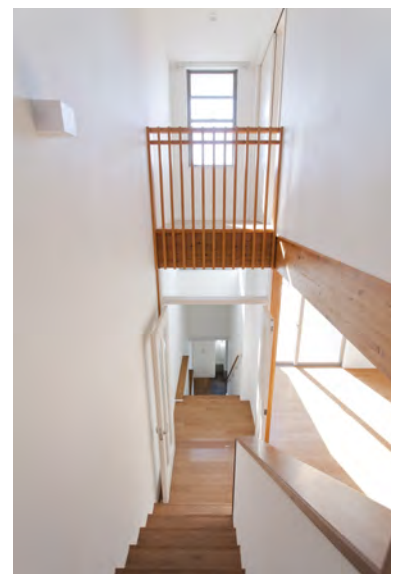
住戸1-6 寝室2よりコート側を見る



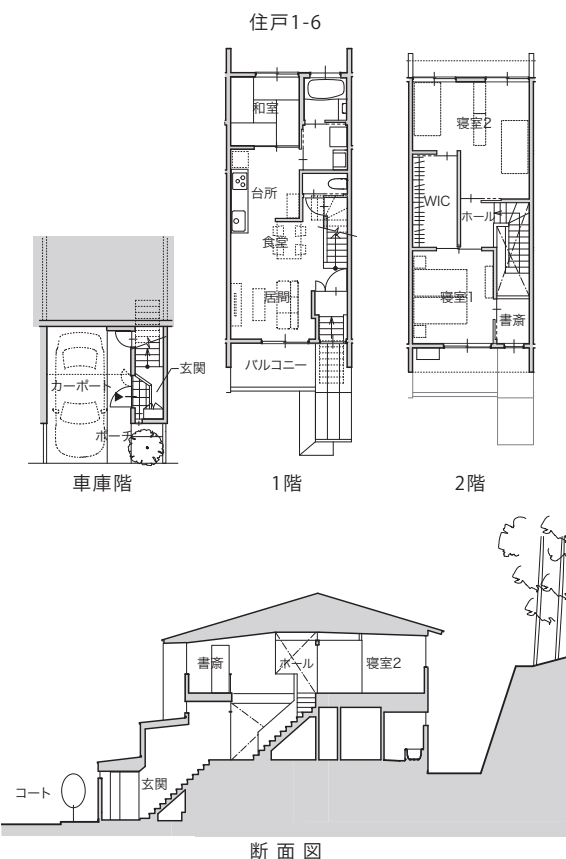
コートより正面外観を見る



住戸1-6 居間より食堂・台所を見る



住戸1-6 吹抜より書斎を見る



所在地	広島市東区牛田旭
主要用途	テラスハウス7戸
構造	木造
階数	2階建
面積	敷地面積 977.92㎡ 建築面積 372.44㎡ 延床面積 689.93㎡